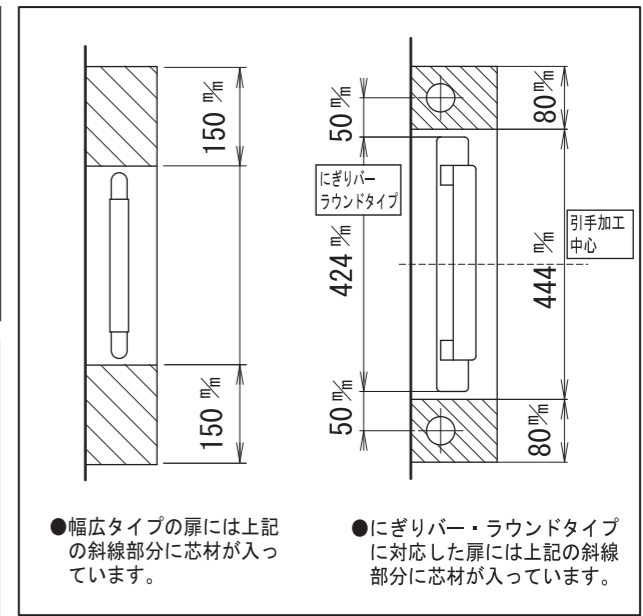
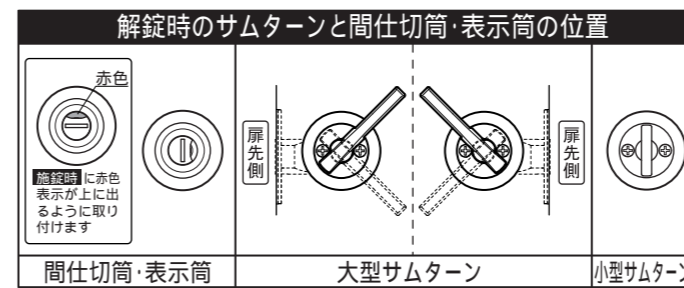


施工上の注意
 ・滑り止め付き手袋をご使用ください。金具等で手を切る恐れがあります。
 ・ねじは、説明書に従い確実に締め付けてください。締め付け不良のまま使用すると、錠が正常に作動しなくなるおそれがあります。
 ・錠を分解したり、改造したりしないでください。部品でケガをしたり、錠が正常に作動しなくなる恐れがあります。

使用上の注意
 ・錠及び引手、レバーの表面を金属装身具などで傷を付けないよう注意してください。傷の部分から変色、腐食する恐れがあります。
 ・錠及び引手、レバーのお手入れには酸性、アルカリ性などの化学洗剤や薬品を使用しないでください。変色、腐食の原因になります。
 ・鍵穴に油を差さないでください。油はホコリを吸着し、かえって鍵の動きが悪くなります。
 ・サムターンは引っ張らないでください。サムターンが外れて閉じ込めになる可能性があります。



- チューブラーケースの取付け**
 △マークを上にして、チューブラーケースを扉に挿し込んでください。
 ケースフロントをマークを上にして、取付ねじで固定してください。
- 座の取付け**
 角軸を室外側アウト座の間仕切筒（表示筒）の角穴に挿し込んでください。
 注）簡易シリンダー錠座の場合は、角軸は座に組み込まれています。
 室外側アウト座の角軸をチューブラーケースの角穴に挿し込み、室内側イン座のサムターンの角穴に合わせてうえて、取付ねじで仮締めしてください。
 注）サムターン、及び表示筒の向きは右上図の位置に合わせてください。
 サムターンを回転させて、施解錠の作動が確実にスムーズにできるかを確認しながら、取付ねじを締め付けてください。
 注）電動ドライバー等は使用しないでください。取付ねじを締め過ぎると錠の動きが悪くなる場合があります。
- 調整ストライクの取付け**
 すき間調整ねじを上にして、ストライクを枠に取付ねじで固定してください。
- 扉と枠のすき間調整方法**
 扉と枠にガタツキがある場合は、すき間調整ねじを回して、すき間を調整してください。
 注）すき間調整ねじを回す時は、電動ドライバーは使用しないでください。

